

年頭所感



岡山商工会議所会頭
第59代

岡崎 彬

「中心市街地の活性化ときめ細やかな中小企業支援に向けて」

謹んで新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、平素から当所事業活動につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、アベノミクス効果に伴う円安の進行や株高による経済の活性化、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など、久しぶりに日本全体に明るさが戻り、景気回復への期待感で盛り上がった一年でありました。一方、地方、とりわけ中小企業においては、いまだ景気回復が実感できないという企業も多く、原材料高、燃料高などのコスト増により先行きに対する不透明感が拭いされていない状況にあります。

こうしたなか、岡山の街は、イオンモール岡山の出店、川崎病院や市民病院の移転建設、岡山市民会館の移転計画など、街全体が大きく動いており、都市機能のあり方を改めて考える時期にあると考えております。当所では、こうした動きが岡山市のまちづくりや活性化に相乗効果を生むよう、公共

交通の利用推進や回遊性が高く、歩いて楽しいまちづくりに向け、行政や大学、経済団体等との連携を密にし、鋭意取り組んでいきたいと考えております。

また、回復基調にある景気を中小企業が実感し、本年4月に予定されている消費税率の引き上げにも、地場企業の皆様に上手に切り抜けてもらえるよう支援体制には万全を期す所存であります。

最後に、本年も、地域総合経済団体として中小企業の活力強化と魅力ある地域づくりに全力で取り組んでまいりたいと存じますので、どうか関係各位におかれましては、一層のご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本青年会議所 会頭
第63代

鈴木 和也

平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に多大なるご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。2014年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年より景気回復の兆しがみえる中ではありますが、日本全体を見渡しますと、真に経済復興を遂げたというには難しく、各地域に目を向けてみても様々な問題が数多く存在しています。次代を担い、より良い社会へと導いていく責任世代として、私たち青年が先頭に立ち潜在する可能性に目を向け、地域、そして国を牽引していく存在にならなければなりません。このことは間違いなく社会からも希求されているものであり、そのためにも、私たち青年が率先して学び、考え、決意し、行動していく姿勢が最も大切なことだと考えます。

公益社団法人岡山青年会議所におかれましては、「フルスロットル！～挑む勇気が道を拓く～」をスローガンに掲げ、鈴木賢史理事長の意気あふれるリーダーシップのもと、「目的意識を持った手法によるひとづくり」、共に支え合う「協創力」、岡山青年会議所らしい「おもてなし」の本質の追及、「仕込み」を意識した広報戦略、心が一つになる「感謝の気持ちがあふれる交流の場」

の提供など様々な事業を精力的に展開されますことに敬意を表します。また、力強い運動により「おかやま発展の原動力」になりますことを心から願っております。

本年、日本JCでは、「取り戻せ、日本の矜持を！」をスローガンに掲げ、意気あふれ、活気に満ちあふれた、「たくましい国」日本の創造を目指します。その理想を実現するために、意気あふれる人財への成長と、強い組織への進化、そしてメンバーの皆様と共に共鳴し合える青年の運動を展開してまいります。

結びとなりますが、活力あふれるおかやまの創造を目指し、貴会員会議所が大きく躍進する一年になることをご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

年頭所感



公益社団法人日本青年会議所
中国地区協議会 会長

山根 康穂

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人岡山青年会議所におかれまして、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会に対し格別なご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この一年が皆様にとりまして希望に満ち溢れた輝ける年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、我が国において、昨年より景気回復の兆しが窺える一方で、東日本大震災からの復興や地域の経済格差、さらには領土・領海が脅威にさらされる安全保障など多くの問題を抱えており、自信と誇りを失いつつあります。このような問題を解決していくのは、いつの時代も私たち青年しかありません。先行きの見えない時代だからこそ、我々JAYCEEが気概と情熱を持って市民の希望となり、新しい「震災後」時代を創造する為に行動しなくてはなりません。本年度の中国地区協議会は、『意気あふれる人財が活躍する「中つ国」の創造』を基本方針に捉え、日本の矜持を取り戻し、未来への可能性を切り拓く運動を展開して「たくましい国」日本を創造し

ていきます。中国地区は神話の国造りの時代から「中つ国」と呼ばれ発展を遂げてきましたが、近年は山陰と山陽における経済基盤の違いから生じた地域格差や、さらには竹島の問題を抱えています。鈴木理事長が掲げられる基本理念に謳われている通り、自らの力で道を切り拓く覚悟を持って、困難に挑む気概で地域の自信と誇りを取り戻していくことが問題解決には必要です。岡山青年会議所の新しい社会を創りあげる力を身につけ「協創力」を高める運動に共鳴する所存で御座います。

結びに、中国地区協議会の大切なパートナーシップである岡山青年会議所と、より強固な連携を構築していき、郷土おかやま発展の為に支ええることをお誓い申し上げますと共に、皆様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
中国地区 岡山ブロック
協議会 会長

久我 久徳

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。岡山ブロック協議会は本年で50周年を迎えることができました。長年にわたる岡山ブロック協議会の活動に対するご理解とご協力、心より感謝申し上げます。

日常の会話の中で、「あの頃は良かった」という言葉をよく耳にしますが、私たちは皆さんの言われる「あの頃」を知りません。ただ想像するに、「あの頃はきっと大変ながらも、人と人が支えあい、笑顔が溢れていたのではないのでしょうか。皆さんはどんな時に笑顔になりますか？どんな時に元気になりますか？私は子ども達の笑顔を見ると日頃の疲れも吹っ飛び、元気になります。そして子ども達が元気に遊ぶ姿を見ると自然と笑顔になります。私は「笑顔は人を元気にしてくれ、元気は人を笑顔にしてくれる」と思っています。昨今の経済状況、社会情勢はご存じの通り非常に厳しいです。しかし、そんな今だからこそ私たち青年が楽しみながら、笑顔で元気よく活動することが必要だと思います。どんな状況でも楽しみながら活動できる人財を育成するために、まずは私自身が行動で示したいと思っております。そして私たちが楽しみながら元気よく活動することで、少しでも地域に笑顔と元気の花が咲き、そして本年の活動が、10年、20年経ち、「良かった」と言い合える「あの頃」

となることを願います。

公益社団法人岡山青年会議所の皆様におかれましては、岡山ブロック協議会のリーダー的存在として、伝統としきたりを守りながらも、積極果敢に市民の皆様が胸躍る事業を展開されております。2014年度も引き続いての事業展開をされますことが何よりの地域貢献と感じておりますし、そうした英知を岡山ブロック協議会へも注いでいただき、共に故郷岡山のために活動して参りたいと思っております。すべては愛する故郷、岡山のために。本年もどうぞよろしくお願い致します。